

身体拘束廃止の取り組み

医療法人英生会野幌病院 理念

患者の立場に則して地域に密着し、信頼され親しまれる
かかりつけ医、保健・福祉の推進を図ります。

看護部理念

親しまれ信頼される看護を提供し、住み慣れた地域で
その人らしい暮らしを支援します。

野幌病院身体拘束最小化宣言
患者さま一人ひとりの人権を尊重し、
地域に根ざした病院づくりを目指し、
「身体拘束最小化」を宣言いたします。

- 1 いずれの身体拘束も否定します。
- 2 身体拘束とは何かを常に考えます。
- 3 身体拘束廃止の取り組みを継続するため、
ご質問等には随時対応いたします。
- 4 身体拘束ゼロを目指します。
- 5 身体拘束廃止を地域と連携し推進していくよう努力します。



身体拘束の対象となる具体的な行為

- ・自分で下りられないように、ベッドを柵で囲む
- ・点滴・経管栄養の管を抜かないように、または皮膚をかきむしらないように手指の機能を制限するミトン型の手袋をつける
- ・車椅子やいすからずり落ちたり、立ち上がらないように、Y字型抑制帯や腰ベルト、車椅子テーブルをつける
- ・脱衣やおむつ外しを制限するために、介護衣（つなぎ服）を着せる
- ・行為を落ち着かせるために、第一選択として向精神薬等を服薬させる
- ・自分の意思であけることができない居室等に隔離する
- ・言葉による制限をする